

蔵王通信

硫黄

第10号

発行
NPO法人 蔵王鉱山の歴史を語り継ぐ会
山形県上山市蔵王字蔵王山 2843-1
発行責任者 川口 兼次
TEL.023-679-2211 FAX.679-2606
編集責任者 高橋 正之
山形県上山市金谷 530 TEL.023-679-2435

印刷所
有限会社 東洋企画印刷
山形県上山市四谷 2-1-46
TEL.023-673-1648 FAX.673-1646

蔵山の歴史を伝える「お宝」を探してください

一資料館は、新元号元年秋に開館の運び、春以降、展示物の収集段階に入ります一

NPO法人蔵王鉱山の歴史を語り継ぐ会では、平成30年11月23日(金)蔵王猿倉レストハウスで理事による芋煮会を開催し、蔵王鉱山歴史資料館の建設計画を協議しました。この結果、平成31年春の山神社の祭事執行とともに建設予定地(写真参照)において地鎮祭を執り行うこととなりました。また、同日の協議の中で、設計事務所から同資料館のジオラマ(写真参照)が提供されました。

現在想定されている建設スケジュールは、「資料館の体育館部分を先行施工し、教室棟は体育館完成後に二期工事として行う」との基本方針の下、新元号元年の5月に体育館の地鎮祭を執行するというものです。計画通り運びますと、8月頃には上棟式、11月雪の降る前には資料館(体育館の部分)完成、ということになります。



蔵王鉱山資料館ジオラマ



蔵王鉱山資料館建設予定地
(所在～元中川第二小学校跡地。正面のナラの木の大木は、当時の体育館と教室棟の間にあった樹木)



仙人沢に架っていた橋の基礎部分



左カーブの曲がり角を坂の上から撮影



カーブの曲がり角を坂の上から撮影



七曲り頂上出口方向の坂道

事業は、明年秋には開館という運びになりますので、春の地鎮祭以降、展示物の収集作業を開始しなければなりません。展示物の具体的な搬入計画は、次号以降にお知らせしますが、ご自宅やご実家の押し入れに、蔵王鉱山のゆかりの品(宝物)がないか、今一度探してください。当時使用したカンテラ、マスク等の工具類を始め、給料袋や組合の機関紙、資料、その他組合活動に使用した用品、働いていた様子を伝える写真、各種行事や趣味活動の写真、生活ぶりを伝えるご家族の写真等を数多く展示し

たいと構想しています。皆様のご支援、ご協力を切にお願いいたします。

また同日、雪囲いに続いて、平成30年度事業の一つである「七曲り」の整備を行いました。この日の作業は、坂道を塞いでいた倒木の切断と撤去を行ったほか、竹藪になっていた一部を下刈りしました。「七曲り」は、坂道の崩れがほとんどなく、またこの度倒木も片付けましたので、通行は十分可能となりました。

筆者は、小学校の6年間夏も冬もこの「七曲り」を登って通学しましたが、学校帰りに蛇をいじめた曲がり角やタケノコやブドウを取ろうと分け入った斜面は、昔の

まま残っていました。また、「七曲り」の蔵王ライン出口の脇には、製錬場と猿倉の間の荷上げに使用したウインチの基礎部分も残っていました。



猿倉の「七曲り」頂上出入り口(蔵王ライン、エコー山荘前)

感謝

30/9/30/11までの報告
会員登録について次の通り感謝を込めてご報告申し上げます。

会員氏名

- 山形市
海老名六郎様・佐東 弘子様
鈴木 敏和様・鈴木 ヒサ様
山市
土田 貞勇様・小松 正和様
桑原久仁美様・中川 善博様
鈴木 秀幸様・川崎 充子様

山神社の雪囲い完了、「七曲り」の整備

平成30年11月17日(土)午前、蔵王鉱山の歴史を語り継ぐ会では、理事等役員10人が参加し、山神社の雪囲いを行いました。(写真参照)



また同日、雪囲いに続いて、平成30年度事業の一つである「七曲り」の整備を行いました。この日の作業は、坂道を塞いでいた倒木の切断と撤去を行ったほか、竹藪になっていた一部を下刈りしました。「七曲り」は、坂道の崩れがほとんどなく、またこの度倒木も片付けましたので、通行は十分可能となりました。

文部科学大臣賞を受賞

語り継ぐ会専務理事・川口 豊氏

NPO法人蔵王鉱山の歴史を語り継ぐ会(以下「語り継ぐ会」という)の専務理事として、法人の運営に尽力されている川口 豊氏は、長年にわたりPTA活動の振興に貢献された功績により、平成30年8月、栄えある文部科学大臣賞を受賞しました。

平成30年11月27日、蔵王猿倉レストハウスにおいて、横戸上市市長はじめ、学校関係者、「語り継ぐ会」理事等70名が出席し、「受賞を祝う会」が開催されました。



37年4月、同法人理事長・川口兼次氏の次男として生まれ、山形市立商業高校を卒業後、日東商事(株)に入社し会社の業績向上に貢献するとともに、(株)上山青年会議所理事長を勤めた。平成30年11月27日、蔵王猿倉レストハウスにおいて、横戸上市市長はじめ、学校関係者、「語り継ぐ会」理事等70名が出席し、「受賞を祝う会」が開催されました。



表彰状
川口 豊氏
文部科学大臣賞
受賞者 川口 豊氏
授賞者 文部科学大臣 林 芳樹

め市の産業発展にも貢献されました。

その後日東商事(株)社長に就任し会社の業績を伸ばす一方、山形市PTA連合会副会長、山形市立蔵王第二小学校PTA会長、山形県PTA連合会副会長、山形市蔵王第一中学校PTA会長、山形市PTA連合会理事(中学校部会長)、山形市立商業高校PTA会長、山形県高等学校PTA連合会会長等の要職を歴任し、教育界においても多くの業績を残されました。

また、この間、平成4年3月に開催されたたばこな国体冬季スキー競技大回転成年二部において優勝し、金メダルに輝いています。現在は、蔵

猿倉にあった職員アパートを改造してオープンしたニュー蔵王山荘。80名程度の小さな山小屋。営業所長1名、総務・経理を担当する職員2名。ほかに我が組合員9名、そして本社常勤役員1名。当然のことながら毎月人件費だけで大幅な赤字であった。何かが起きる、そんな不安な日々が続いていた。

「本社に来るよう」と連絡があった。閉山、撤収、県労評、そしてニュー蔵王山荘。本社への出頭は、不気味な感じを持つ、一か八

かの出張だった。

白桦日東金属社長から「ニュー蔵王山荘は赤字、赤字でどうにもならない、川口君の率直な意見を聞きたい。予想通りの発言があった。私は、すかさず「すべてを私に任せよう」と、既に用意していた「ニュー蔵王山荘再建計画」を文書で提示した。

経営権というか、営業人事、経理等、すべてを川口に任せようという再建

へ帰山。

「本社から連絡があったと思うが、今日から私が最高責任者。そのグループ回る椅子は私が座る。引継ぎをするので机の中を整理し置くように」閉山による切なかつた思いを二気に吐き出すように通告した。「一番喜んでくれたのは、私と運命を共にした残留組員9名であった。川口支援の体制は強化された。山形県労評を中心にニュー蔵王山荘利用の方針が組織され賑わいを見せた。

本社も元蔵王鉱山所長

の竹割さんが社長に就任し、常務には元総務部長の清水愛明さんが、そして東京出張所長に村山司さんが着任し、川口への支援体制は強化され、「鉱山男(やまおとこ)」のサービスは、注目されるようになった。

「川口君、僕は拓殖大学に顔が効く。一緒にセールの行こう。」竹割さんと川口の「客引き」は、こうして始まった。

マサに意外な展開となり多くの方々がビックリした。

(かわくち)

